

【プログラムⅣ】 興味関心のある コースに分かれての 専門分野の研究

※講義場所については、
各コースの教員が誘導します。

【児童教育コース（教科実践力向上プログラム）】

小学校理科教科書の過去と現在、そして未来

- 担当教員：鈴木宏昭 講師
- 場所：地域教育文化学部2号館5階
511 理科・環境教育教材開発実習室

現在の小学校で使用されている理科教科書の内容や特徴を理解した上で、明治初期の頃の小学校理科教科書（日本で初めての小学校理科教科書）との比較、また、現在もアメリカで使用されている小学校理科教科書との比較を行う。その際、理科教科書の内容だけでなく、理科教科書で取り扱っている教材についても比較する。さらに、近年の教育現場で活用方法が議論されているデジタル教科書の有効性について考えた上で、これからの小学校理科教科書のあり方について考える。

【児童教育コース（心理プログラム）】

学校教育における教師のかかわりと課題

～いじめ・不登校の予防に向けて～

- 担当教員：松崎学 教授
- 場所：地域教育文化学部1号館2階 121演習室

教師・保育者にしる、“良かれ”と思って、特定の場面での言動を選択して対応している。しかし、その日常的対応には適切なかかわりと不適切なかかわりが“玉石混淆状態”である。その整理がある程度なされないと、いじめや不登校を生み出す背景要因が維持・強化されることになることを学ぶ。

【異文化交流コース】

異文化交流コースでは、 どんなことが勉強できるのか？

- 担当教員：落合義明 准教授
- 場所：地域教育文化学部2号館4階449
(教員共同利用・研修教員室)

本コースでは、言語・文化の知識とコミュニケーション能力を身につけ、異文化交流を企画・支援・推進することができる人材、日本語教育に貢献できる人材、国際的視野を身につけた国語科、英語科、社会科の教員を育てます。

具体的には、1年生のときには主に基盤教育（全学部対象に開かれる、いわゆる教養教育とか共通教育と呼ばれてきた授業）を中心に履修し、2年生当初に次に述べる4つの教育プログラムの中から1つを学生の希望により確立し、そのプログラムで定められた2年生から4年生のいわゆる専門教育の授業を履修します。

当日は、各プログラム担当の教員による当コースの説明と参加者のご質問にお答えします。

【造形芸術コース】

絵本の中に広がる視覚表現性について考えてみよう

- 担当教員：和田直人 教授
- 場所：地域教育文化学部1号館3階 和田研究室

絵本をただ感覚的に見るのではなく、絵本作家がその絵本に仕組んだ視覚表現性の種々のテクニックをひも解きながら、造形芸術としての形や色の魅力を探っていきます。

後半は、アメリカの女性絵本作家のタナ・ホーバンが用いたカメラを用いない写真（フォトグラム）による絵本づくりにチャレンジします。光と影によるシルエットの造形的な美しさを自ら体験することで、絵本の視覚表現性的一端を学んでいきます。

【スポーツ文化コース】

体感、身体仕組み

～運動・スポーツと心拍数の関係を探る～

- 担当教員：井上功一郎 講師
- 場所：第一体育館 および
地域教育文化学部3号館6階 井上研究室

ヒトが運動をすると身体はそれに応じていろいろな反応をします。汗をかいたり、息が上がったり、筋肉痛になったりするのもその一部です、今回の体験学習では運動に伴う心臓の反応、つまりは心拍数の変化に着目します。始めに、心臓の役割について簡単に学びます。その後、いろいろな運動を実際に行いながら、心拍数計によって自分の心拍数をモニタリングし、記録します。測定後には記録した結果をグラフにまとめ、どのような運動でどれくらい心拍数が高くなるのか詳しく調べます。運動をすると自分自身の身体がどのように反応するのか体感しながら、ヒトの身体仕組みについて理解を深めます。

【生活環境科学コース】

有機太陽光発電を利用した

エコハウスを考えてみよう

- 担当教員：日高貴志夫 教授
- 場所：地域教育文化学部1号館2階 日高研究室

理科に興味ある人も、建築に興味ある人も皆が楽しく学べる体験学習です。

- ・電磁気を利用したタービン発電と半導体の光技術を利用した太陽光発電の原理が学べます。
- ・太陽光発電に挑戦します。
- ・エコハウスの歴史と構造を学びます。
- ・電気エネルギーをエコハウスに利用する方法を皆で考えます。

【システム情報学コース】

システム情報学コースの教員とのふれあいを通して

- 担当教員：皆川宏之 教授（研究室：4階）
瀬尾和哉 教授（研究室：1号館3階）
佐久間雅 准教授（研究室：4階）
坂口隆之 講師（研究室：4階）
- 場所：地域教育文化学部2号館
3階 数学実習室 および 担当教員研究室

システム情報学コースの大きな特徴は、文系と理系の学問を両方学ぶことができることです。本コースの体験学習では、まずコースの概要について説明をおこない、その後、いくつかの研究室を訪問し、研究領域の広さを体感していただきます。また、大学の教員との直接のふれあいを通して大学の雰囲気を感じ取ってもらうことももう1つの目的です。

Schedule

- 8月17日(月) 12:30 **集合・受付**
山形大学:小白川キャンパス
地域教育文化学部 1号館 玄関前 ※ 6ページに学内地図掲載
- 13:00 **開講式・オリエンテーション** 司会:小田隆治 教授
会場:地域教育文化学部 1号館 2階 会議室
- 13:30 **学部紹介** 講師:佐々木正彦 教授
- 14:00 **プログラム I「大学で学ぶとは何か」** 講師:落合義明 准教授
会場:地域教育文化学部 1号館 2階 会議室
- 15:30 **宿泊先へバスで移動(宿泊先:協同の杜JA研修所)**
- 16:30 **プログラム II「自分の将来について考える」** 講師:土井敬真 准教授
会場:研修棟2階第3研修室
- 18:00 **夕食**
- 18:30 **プログラム III「山形県の将来について考える」** 講師:鈴木宏昭 講師
会場:研修棟2階第3研修室
- 20:00 **自由行動(入浴・交流等)**
- 22:30 **消灯(厳守!)**
- 8月18日(火) 6:30 **起床**
- 7:30 **朝食**
- 8:30 **山形大学小白川キャンパスへバスで移動**
- 9:20 **オリエンテーション**
会場:地域教育文化学部 1号館 2階 会議室
- 9:40 **プログラム IV**
「興味関心のあるコースに分かれての専門分野の探究」
※ 4ページに詳細掲載
- 12:00 **昼食(大学でお弁当を準備します)**
- 13:00 **プログラム V「総括」** 講師:小田隆治 教授
会場:地域教育文化学部 1号館 2階 会議室
- 14:30 **閉講式**
- 閉講式後、解散。各自帰宅**